



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 ユナイテッドアローズ
コード番号 7606 URL <http://www.united-arrows.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 CEO (氏名) 松崎 善則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 中澤 健夫

TEL 03-5785-6325

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	99,704	3.8	5,817	8.9	6,359	5.5	4,253	2.0
2023年3月期第3四半期	96,093	10.6	6,387	247.7	6,731	153.1	4,340	234.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,174百万円 (0.8%) 2023年3月期第3四半期 4,207百万円 (251.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	152.66	
2023年3月期第3四半期	152.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	60,316	34,438	57.1	1,247.96
2023年3月期	61,184	33,702	55.1	1,182.72

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 34,438百万円 2023年3月期 33,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		12.00		35.00	47.00
2024年3月期		17.00			
2024年3月期(予想)				38.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	138,300	6.3	7,000	10.0	7,420	7.5	4,830	11.2	169.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	30,213,676 株	2023年3月期	30,213,676 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,617,586 株	2023年3月期	1,718,392 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	27,864,731 株	2023年3月期3Q	28,495,307 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い社会経済活動が正常化するなど、緩やかな回復基調にあります。一方、原材料価格の高騰や円安による物価上昇が進むなど、先行き不透明な状況も続いています。衣料品小売業界においては、原材料高や円安に加え、残暑の長期化や暖冬の影響を受けたほか、物価上昇による消費マインドの低下懸念が潜在するなど厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、当社は2033年3月期を最終年度とする長期ビジョン「美しい会社ユニテッドアローズ、真善美を追求し続けることでサステナブルな社会の実現に貢献し、お客様に愛され続ける高付加価値提供グループになる」とともに、その達成を目指して2026年3月期を最終年度とする中期経営計画「感動提供 お客様と深く広く繋がる」を策定し、3つの戦略を推進しています。

2024年3月期は「新しい価値提供に向けて踏み出す」を経営方針に掲げ、3つの戦略により長期ビジョンと中期経営計画の実現を目指しています。

1つ目のUA CREATIVITY戦略では、既存事業の成長拡大、ブランド力の強化、(株)コーエンの再成長に向けて取り組んでいます。

既存事業の成長拡大については、「ユニテッドアローズ」「ビューティー&ユース」を中心とするトレンドマーケットが好調に推移し、小売+ネット通販既存店売上高前年同期比(単体)は106.2%と伸長しました。また、インバウンド需要の拡大に伴い、免税売上(単体)は前年同期の3.7倍、売上高構成比は前年同期から2.1ポイント増加の2.9%となり、売上の押し上げ要因の一つとなっています。

売上総利益率の向上に向けて、原価率上昇をおさえるべく商品クオリティの向上を伴う精緻な価格設定を行うことと併せ、在庫調達のコントロールにより在庫効率が改善しました。単体アウトレットでは、過年度在庫の縮小等により売上総利益率が前年同期より大幅に良化しています。これらの結果、売上総利益率は前年同期と同水準を維持しました。

ブランド力の強化については、ブランド価値創造の源泉である従業員のエンゲージメント向上を目指し、教育機会の拡充やタレントマネジメントシステムを活用した人事異動など、各種施策を講じています。これらの取り組みが奏功し、年に一度実施している従業員意識調査では、従業員エンゲージメントスコア(*1)が前年から向上しました。

(株)コーエンは、前連結会計年度の退店等により減収となりました。再成長へ向けて、マーチャンダイジングの修正や店舗オペレーションの見直しなどを進めています。

(*1) 従業員エンゲージメントスコア：従業員意識調査の質問項目のうち、動機付け要因である仕事の達成感、承認、やりがい、権限委譲、評価への納得感、成長実感に対する肯定的回答比率の平均値

2つ目のUA MULTI戦略では、業容拡大に向けた事業開発やグローバル展開の拡大によって、当社の価値提供の領域を広げ、お客様層を拡大させることを目指しています。

新たなお客様層の拡大を目指して、若年層に向けたウィメンズの新ブランド「ATTISESSION(アティセッション)」を開発し、2024年春より販売を開始します。アパレル以外の事業開発も進めており、既存顧客層に対する提案領域の拡大に向けて、コスメブランド「UNITED ARROWS BEAUTY」を2024年1月に開始しました。

グローバル展開の拡大に向けて、台湾で期間限定店舗を出店しているほか、上海や北京での期間限定店舗の展開を通じて、中国本土での本格展開に向けた準備を進行しています。

3つ目のUA DIGITAL戦略では、OMO(*2)の推進とサプライチェーンの最適化を軸に取り組んでいます。OMOの推進では、2023年夏に改定した会員プログラムの運営と並行して、自社ECアプリの機能向上に向けた再開発も進めています。

サプライチェーンの最適化では、次期商品管理基幹システムの開発と商品調達のデジタル化に合わせ、業務オペレーションの構築に向けた準備も行っています。

(※2) OM0: Online Merges with Offlineの略。オンラインとオフラインの融合を指す。

出退店については、トレンドマーケットで1店舗の出店、2店舗の退店、ミッド・トレンドマーケットで6店舗の出店、1店舗の退店、アウトレットで1店舗の出店を実施した結果、当第3四半期連結累計期間末の小売店舗数は193店舗、アウトレットを含む総店舗数は220店舗となりました。

連結子会社の状況については、株式会社コーエン（決算月：1月）は減収、海外子会社の台湾聯合艾諾股份有限公司（決算月：1月）は増収となりました。出退店については、株式会社コーエンは3店舗の退店により当第3四半期連結累計期間末の店舗数は72店舗、台湾聯合艾諾股份有限公司は1店舗の出店により当第3四半期連結累計期間末の店舗数は9店舗となっています。

以上により、グループ全体での新規出店数は9店舗、退店数は6店舗、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は301店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3.8%増の99,704百万円となりました。売上総利益は前年同期比3.8%増の52,578百万円となり、売上総利益率は前年同期と同水準の52.7%となりました。販売費及び一般管理費は、会員プログラムの改定に伴う一時費用などによる宣伝販促費の増、人員増に伴う人件費の増などにより、前年同期比5.7%増の46,761百万円、売上高構成比は前年同期差0.9ポイント増の46.9%となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は5,817百万円（前年同期比8.9%減）、経常利益は6,359百万円（前年同期比5.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は4,253百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して722百万円(1.7%)減少の40,881百万円となりました。これは、現金及び預金が5,449百万円減少した一方、商品が2,107百万円、貯蔵品が85百万円、未収入金が2,648百万円、それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して145百万円(0.7%)減少の19,434百万円となりました。これは、基幹システム刷新に向けた準備などにより無形固定資産が1,011百万円増加した一方、店舗の退店に伴い差入保証金が265百万円減少したこと、及び繰延税金資産が1,119百万円減少したことなどによります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1,734百万円(7.4%)減少の21,717百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が240百万円、流動負債のその他が1,258百万円、それぞれ増加した一方、短期借入金306百万円、未払金が240百万円、未払法人税等が965百万円、賞与引当金が1,378百万円、それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して129百万円(3.2%)増加の4,159百万円となりました。これは、出店などに伴い、資産除去債務が101百万円増加したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して736百万円(2.2%)増加の34,438百万円となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により4,253百万円増加した一方、配当金の支払により1,468百万円減少したこと、及び自己株式を2,000百万円取得したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきまして、2023年5月10日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,562	3,113
受取手形及び売掛金	109	63
商品	20,128	22,236
貯蔵品	511	597
未収入金	11,398	14,046
その他	893	824
流動資産合計	41,604	40,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,320	3,476
機械及び装置（純額）	676	591
土地	569	569
建設仮勘定	92	0
その他（純額）	307	359
有形固定資産合計	4,966	4,999
無形固定資産		
その他	1,682	2,694
無形固定資産合計	1,682	2,694
投資その他の資産		
差入保証金	6,626	6,361
繰延税金資産	3,235	2,116
その他	3,068	3,265
貸倒引当金	-	△2
投資その他の資産合計	12,930	11,741
固定資産合計	19,580	19,434
資産合計	61,184	60,316
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,729	9,970
短期借入金	2,504	2,198
未払金	4,266	4,026
未払法人税等	1,303	337
賞与引当金	2,017	639
役員賞与引当金	48	31
店舗閉鎖損失引当金	136	-
資産除去債務	237	47
その他	3,207	4,466
流動負債合計	23,451	21,717
固定負債		
資産除去債務	4,002	4,104
役員株式給付引当金	-	30
その他	27	24
固定負債合計	4,030	4,159
負債合計	27,482	25,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,030	3,030
資本剰余金	4,444	4,538
利益剰余金	31,429	34,215
自己株式	△5,006	△7,069
株主資本合計	33,897	34,713
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△195	△274
その他の包括利益累計額合計	△195	△274
純資産合計	33,702	34,438
負債純資産合計	61,184	60,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	96,093	99,704
売上原価	45,458	47,125
売上総利益	50,635	52,578
販売費及び一般管理費	44,247	46,761
営業利益	6,387	5,817
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	87
仕入割引	43	8
受取賃貸料	9	9
受取手数料	5	3
助成金収入	8	-
持分法による投資利益	237	415
その他	95	89
営業外収益合計	400	615
営業外費用		
支払利息	10	6
為替差損	22	-
賃貸費用	9	9
和解金	-	27
その他	13	30
営業外費用合計	56	73
経常利益	6,731	6,359
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	19	56
減損損失	143	98
店舗閉鎖損失引当金繰入額	136	-
その他	-	16
特別損失合計	299	171
税金等調整前四半期純利益	6,432	6,188
法人税、住民税及び事業税	948	815
法人税等調整額	1,143	1,119
法人税等合計	2,092	1,934
四半期純利益	4,340	4,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,340	4,253

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,340	4,253
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△132	△79
その他の包括利益合計	△132	△79
四半期包括利益	4,207	4,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,207	4,174
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,432	6,188
減価償却費	653	648
無形固定資産償却費	281	332
長期前払費用償却額	464	510
減損損失	143	98
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△236	△1,378
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	25	△17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	-	2
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	10	6
助成金収入	△8	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,615	△2,592
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,869	△2,193
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△60	64
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,137	934
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	1,238	292
持分法による投資損益 (△は益)	△237	△415
その他	72	77
小計	4,432	2,558
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△10	△6
助成金の受取額	8	-
法人税等の支払額	△602	△1,641
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,827	911
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△277	△880
資産除去債務の履行による支出	△96	△243
無形固定資産の取得による支出	△541	△1,366
長期前払費用の取得による支出	△1,324	△321
差入保証金の差入による支出	△66	△55
差入保証金の回収による収入	514	320
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,792	△2,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,420	△306
自己株式の取得による支出	-	△2,000
配当金の支払額	△655	△1,433
その他	△0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,075	△3,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,173	△5,458
現金及び現金同等物の期首残高	5,593	8,562
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,420	3,104

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式831,200株を1,999百万円で取得しております。また、同日開催の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(BBT-RS)」の導入に伴う、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)を引受先とした第三者割当による自己株式155,400株の処分を行い、その他資本剰余金及び自己株式がそれぞれ58百万円減少しております。なお、信託に残存する当社株式は自己株式として計上しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末においてその他資本剰余金が442百万円、自己株式が7,069百万円となっております。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2023年6月26日開催の第34回定時株主総会において、当社の取締役(監査等委員である取締役、及びそれ以外の取締役のうち社外取締役であるものを除く。)及び委任契約を締結している執行役員(以下、「取締役等」という。)に対して、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT-RS(=Board Benefit Trust-Restricted Stock))」(以下、「本制度」という。)を導入することを決議いたしました。本制度は、当社及び当社グループの中長期的な業績の向上と企業価値の増大への貢献意識を高めることを目的としたものであり、当社グループ業績との連動性が高く、かつ透明性・客観性の高い役員報酬制度であります。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設計される信託を「本信託」という。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度であります。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第3四半期連結会計期間末333百万円、株式数は142,158株であります。